

令和7年度 市政に関する市民懇談会記録

日 時 令和7年10月11日（土）14：00～15：30

会 場 那須塩原市図書館みるる ツグナラホール

参加人数 8人

出席者 市長、企画部長

企画政策課長（司会）、企画政策課長補佐、情報戦略係

テ ー マ 那須塩原のこれからとわたしたちのまちづくり

《意見交換》

参加者：若者や高齢者が集まり、特技や音楽を発表できる場所が少ないと感じる。お金がなくても利用でき、人が集まるカルチャーがもっと必要だと思う。どこに行けばそういう場があるのか情報がない。

市 長：集いの場所をつくらなくてはいけないとは感じている。那須塩原駅周辺を皆さんが集える場所として再整備を考えているところであり、新庁舎も市民が集えるシティホールにしたいと思っている。
シルバー世代の方が集える場などもいくつかはあり、また、移住者コミュニティもあるので、もっと広く活動が知られるようにしていきたいと思う。

参加者：地域の行事が少なく、自治会によってイベントの有無が異なり、それによって市の補助金に不平等を感じる（敬老の日のイベント）。行事を実施していない自治会へは市から働きかけをしてほしい。

市 長：市の自治会は規模が千差万別であり、一律に対応するのは難しいところがある。みなさんが住みやすい環境をつくるために、こういった声を拾ってフォローしていきたい。

参加者：音楽フェスなどの規模の大きなイベントを誘致してみてもどうか。移住促進センターのイベントは子育て世代向けが多いので、年配の移住者も参加できるイベントがあると良いと思う。

市 長：過去にフェスが企画されたこともあり、有名な方を呼ぶイベントもやっていきたい。移住者向けイベントは子育て世代向けに力を入れていたところがあるが、今後は世代のバランスを見て考えていきたい。

参加者：外国企業を含めた企業誘致や、防犯カメラの増設など防犯対策に力を入れてほしい。冬の野焼きや庭でのごみ燃やしは火災のリスクがあり恐怖を感じるので規制してもらいたい。

市 長：企業誘致や海外との交流は意識していきたい。防犯面は、犯罪件数等でエリア整理をしつつ防犯意識を高めることに取り組む。野焼きについては消防でも気を付けており、引き続き注意喚起をしていく必要がある。

- 参加者**：免許を返納したためタクシー券を申請したが、妻が運転できるため配布できないと言われた。高齢で運転に不安があるため、一律に年代で区切るなど高齢者に優しい仕組みにしてほしい。
- 市長**：タクシー券は以前売買されたことがあり、要件を厳しくした経緯がある。自動運転などの技術も発展してきているため、必要な人が助かる制度を試行錯誤しながら考えていきたい。
- 参加者**：市内の酪農家や農地が減少し、メガソーラーなどになっているのが心配である。市産の牛乳を市民が安く買えるといい。
- 市長**：個人農家は減っているがメガファームの増加で生産高は伸びており、衰退産業ではない。牛乳の消費拡大は難しいため、チーズなど加工品の開発や普及に努め、新たな名産にしたいと思っている。市単独の補助は難しいが、地産地消や地域の産業を支え合うムーブメントを作っていきたい。
- 参加者**：他県での下水道陥没事故を受け、本市の上下水道の維持管理に不安がある。また、入札不調となった新庁舎建設の現在の状況を知りたい。
- 市長**：下水道は老朽化が進んでおり、別の方法を選択できる場所は浄化槽を利用するなど見直しをしていく。鳥野目浄水場も改修工事を行っており、将来にツケを先送りしないようにしていく。新庁舎については全国的に公共事業の不調が相次いでおり、現在サウンディング調査を実施して原因を調べているところである。
- 参加者**：塩原図書館はきれいで自然豊かだが、利用者が少なくもったいないと感じる。動物との触れ合いイベントや図書館猫の導入などを通して、人が集まる癒しの場所にしてはどうか。
- 市長**：魅力の周知が足りない部分があるため PR 方法を考えていきたい。図書館に動物を置くかはともかく、アニマルセラピーの導入については勉強していきたい。
- 参加者**：那須塩原駅前にカフェや買い物ができ、人が滞在できる場所をつくってほしい。駅西口のエスカレーターがずっと壊れたままなので直してほしい。
- 市長**：地元の方や企業と協議体を作り、緑化などもして人が集まる場所として駅周辺の整備に関する議論を進めている。エスカレーターは資材の関係で着手できていないようだが、JR も気にしているようだ。
- 参加者**：紅葉の時期に那須岳周辺の渋滞がひどくなるため、閉館したホテルを駐車場にするなど渋滞解消に努めてほしい。
- 市長**：MaaS※など、マイカー利用以外の方法で観光できる取り組みを模索している。空き地利用もいい考えなので、那須町の町長にも聞いてみようと思う。
※様々な技術、サービスを組み合わせ、マイカー無しで快適に移動ができるサービスのこと。